

令和2年度 院内学習計画(ラダー教育計画) 新人看護職員

研修名		
1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度	看護職員として自覚と責任ある行動	(1) 医療倫理・看護倫理に基づき患者の人権を擁護する (2) 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを理解する (3) 職業人としての自覚を持ち倫理に基づいて行動する
	患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	(4) 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する (5) 患者を一個人として尊重し、受容的共感的態度で接する (6) 患者家族にわかりやすい説明を行い同意を得る (7) 家族の意向を把握し家族にしか担えない役割を判断し支援する (8) 守秘義務を厳守しプライバシーに配慮する (9) 看護は患者中心のサービスであることを認識し患者家族に接する
	組織における役割・心構えの理解と適切な行動	(10) 病院および看護部の理念を理解し行動する (11) 病院および看護部の組織と機能について理解する (12) チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する (13) 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる (14) 固定チームナーシングについて
	生涯にわたる主体的な自己学習の継続	(15) 勤務記録誌 (16) 目標管理シート (17) 教育目標と計画、キャリアファイルの活用方法
2. 技術的側面	環境調整技術	(18) 病室整備の療養環境調整(臥床患者の療養生活環境整備等) (19) ベッドメイキング
	食事援助技術	(20) 食事介助(嚥下障害患者) (21) 経管栄養、胃ろう
	排泄援助技術	(22) 自然排尿・排便介助(尿器・便器介助) (23) 浣腸 (24) 摘便 (25) 導尿、尿道留置カテーテルの挿入と管理
	活動・休息援助技術	(26) 歩行介助・移動の介助・移送・体位変換(手術後・麻痺等で活動に制限のある患者) (27) 関節可動域訓練・廃用症候群予防 (28) 入眠・睡眠への援助 (29) 体動・移動に注意が必要な患者への援助(不穏、情緒不安定、意識レベル低下、鎮静中、高齢者への援助)
	清潔・衣生活援助	(30) 口腔ケア (31) 清拭 (32) 洗髪 (33) 入浴介助 (34) 部分浴・陰部ケア・おむつ交換 (35) 寝衣交換
	呼吸・循環を整える技術	(36) 酸素吸入療法 (37) ネブライザー (38) 体位ドレナージ (39) 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内) (40) 人工呼吸器の管理
	創傷管理技術	(41) 褥瘡の予防: スキンケア、体圧分散等 (42) 包帯法
	与薬の技術	(43) 経口薬・外用薬・直腸内の与薬 (44) 皮下注射・筋肉内注射・皮内注射 (45) 静脈内注射・点滴静脈内注射 (46) 中心静脈内注射の準備・介助・管理 (47) 抗菌薬、抗ウイルス薬の用法の理解と副作用の観察 (48) インスリン製剤の種類・用法の理解と副作用の観察 (49) 麻薬の種類・用法の理解と主作用・副作用の観察 (50) 薬剤の管理(毒薬 劇薬、血液製剤、麻薬) (51) 輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い (52) 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察
	救命救急処置技術	(53) 意識レベルの把握、ハリーコールの説明 (54) 気道確保 (55) 人工呼吸 (56) 閉鎖式心臓マッサージ (57) 気管内挿管の準備と介助 (58) 外傷性の止血

2. 技術的側面	症状・生体機能管理技術	(59)バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈 (60)身体計測 (61)静脈血採血と検体の取り扱い (62)動脈血採血の準備と検体の取り扱い (63)採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い (64)血糖値測定と検体の取り扱い (65)心電図モニターの取り扱い、12誘導心電図の装着、管理 (66)パルスオキシメーターによる測定
	苦痛の緩和・安楽確保の技術	(67)安楽な体位の保持 (68) 翻法等身体安楽促進ケア (69)リラクゼーション技法(例:呼吸法、自律訓練法等) (70)精神的安寧を保つための看護ケア(例:患者の嗜好や習慣等を取り入れたケアを行う等)
	感染予防技術	(71)スタンダードプリコーションの実施 (72)必要な防護具の選択(手袋、ゴーグル、ガウン等) (73)無菌操作の実施 (74)医療廃棄物の規定に沿った取り扱い (75)針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応 (76)感染予防フォローアップ研修
	安全確保の技術	(77)誤認防止の手順に沿った与薬 (78)患者誤認防止策の実施 (79)転倒転落防止策の実施 (80)薬剤・放射線暴露防止の実施
	死亡時のケアに関する技術	(81)死後のケア
3. 管理的側面	安全管理	(82)施設における医療安全管理体制について理解する
	情報管理	(83)看護記録について:①看護記録とは ②フォーカスチャータリング ③看護必要度について
	業務管理	(84)業務の基準・手順に沿って実施する (85)複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する (86)業務上の報告・連絡・相談を適切に行う (87)決められた業務を時間内に実施できるように調整する
	薬剤等の管理	(88)薬剤を適切に請求・受領・保管する (89)血液製剤を適切に請求・受領・保管する
	災害・防災管理	(90)防火訓練 (91)大規模災害訓練
	物品管理	(92)規定に沿って適切に医療機器・器具を取り扱う (93)看護用品・衛生材料の準備点検を行う
	コスト管理	(94)患者の負担を考慮し物品を適切に使用する (95)費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する
4. 振り返り研修		(96)1ヶ月の振り返り (97)3ヶ月の振り返り (98)6ヶ月の振り返り (99)1年の振り返り
5. 部署見学		(100)中材見学 (101)手術室見学 (102)外来見学 (103)透析室見学
6. 新人看護職員チェックリストの活用	新人看護職員看護技術チェックリスト	基礎看護技術チェック(入職時、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後) 夜勤開始前チェック
	勤務記録誌	4～6月・・毎日 7～9月・・1週間毎

